

しいばらき

茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

茨城町議会議長

新年のごあいさつ

茨城町議会議長

山西正樹



謹んで新春のご祝詞を申し上げます。
町民の皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年12月に開会されました、改選後初の定例議会において、議員各位のご推挙をいただき、第39代茨城町議会議長の栄職を承ることにいたしました。その職責の重さを認識しつつ、公平、公正かつ円滑な議会運営に努め、町民の皆様の負託に応えられるよう、最善を尽くしてまいりたいと存じます。

さて、4年間にわたり私たちの生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症でございませうが、昨年5月に感染症法上の分類が2類から5類に引き下げられ、一定の区切りを迎えることができました。しかしながら、コロナ禍が及ぼした地域経済の停滞のほか、原油価格高騰や円安に伴う物価高、出生数低下による少子化社会など、解決しなければならぬ諸課題への対応が急務となっております。また、社会福祉の向上や防災・危機管理体制の強化、アフターコロナ時代における地域経済の活性化はもとより、脱炭素社会の実現、DXによる変革等、時代を捉えた取り組みを進めていくことも必要です。

このような状況下ではありますが、昨年には第6次総合計画後期基本計画が策定され、茨城町が目指

すべき将来像の実現に向けて、各種施策が進められています。町議会といたしましても、この厳しい現状を一つずつ打開し、これからの茨城町を担う子どもや若い世代が未来に希望を持ち少子高齢化社会にあっても、誰一人取り残さない、すべての人が安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。それには、二元代表制の一翼を担う町民に最も身近な町議会として、町政に興味・関心をもってもらえるよう積極的な情報発信を行いながら、女性や若年層など多様な町民の声に耳を傾け、説明責任を尽くし、その声を町政に的確に反映させることで、開かれた、そして信頼される議会を構築します。さらには、行政の事務執行に対する監視・評価機能や政策立案機能の充実、ICT化による効率的な議会運営の推進など不断の議会改革に努めます。

結びにあたりまして、先の選挙において、茨城町議会の議員構成が新しくなりましたが、今後も町民の皆様のご幸せと茨城町の発展に向け、従来の慣例にとられることなく、議員一人ひとりが個々の資質を向上するため、日々研鑽を重ねてまいります。そして、行政当局と真摯な議論を交わし、相互に協力しながら効果的な政策を推進し、諸課題の解決に向け全力を尽くしてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議会を代表しての新年の挨拶といたします。



▲茨城町議会初議会(令和5年12月21日 役場玄関前にて)

左から

<前列>

海老澤 忠 議員 田家 勇作 議員 小林 宣夫 町長 澤 秀雄 議員 山西 正樹 議長
石川 祐一 副議長

<2列目>

小林 弘文 副町長 高安 将能 議員 岩松 律子 議員 根崎 敏夫 議員 久保田 良一 議員
大場 八千代 議員 美野田 龍敬 議員 関 俊治 議員

<後列>

岡野 清 議会事務局長 寺門 早苗 議員 堀江 誠 議員 佃 敬子 議員 海老澤 正道 議員

【問合せ先】議会事務局 ☎ 029-240-7193(直通)

編集・発行 / 茨城町 町長公室 秘書広聴課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748
ホームページアドレス <https://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.lg.jp